

この資料は、JIIMA「マイクロメディア & デジタル-マイクロ・アーカイブ委員会」
参加企業の提供により、掲載させていただいております。

(社)日本画像情報マネジメント協会
マイクロメディア & デジタル-マイクロ・アーカイブ委員会
マイクロメディアWG

お客様 各位

ドキュメントアーカイブのご提案

— 貴重な情報資産の長期安全保存策 —


富士フイルム株式会社
産業機材部

*Guardian Of Long-term
Documents*



本格的なIT社会の到来とともに重要性を増す「デジタル文書の長期・安全保存」。
それを実現する新発想の情報セキュリティソリューション。

デジタル文書には「光」と「影」が存在します。「利便性」という光の裏側には「脆弱性」という影が潜んでいます。システム依存性、記録媒体の寿命、不正アクセスや改ざん、地震や水害等の自然災害。デジタル文書の「長期・安全保存」を脅かす要素は無数にあります。これらに対し適切な対策を講じ、「長期・安全保存」の仕組みを確立する必要があります。

 は、デジタル文書の利用環境を将来的に保証し、貴重な情報資産を守ります。

「デジタルデータ」を取り巻く危険な環境

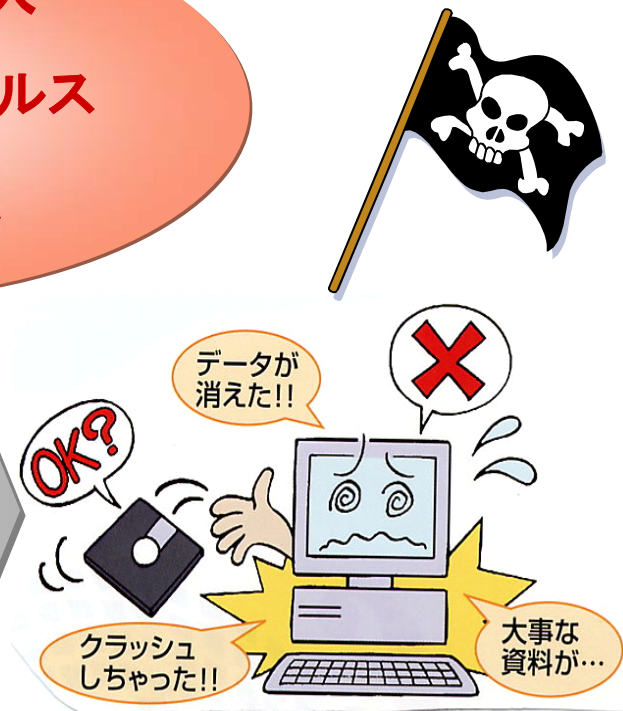
- システム依存性
- 記録媒体の寿命
- 異なる記録方式
- ソフトの非互換性

- 情報漏洩・不正侵入
- コンピューターウイルス
- オペレーションミス

危険な
環境

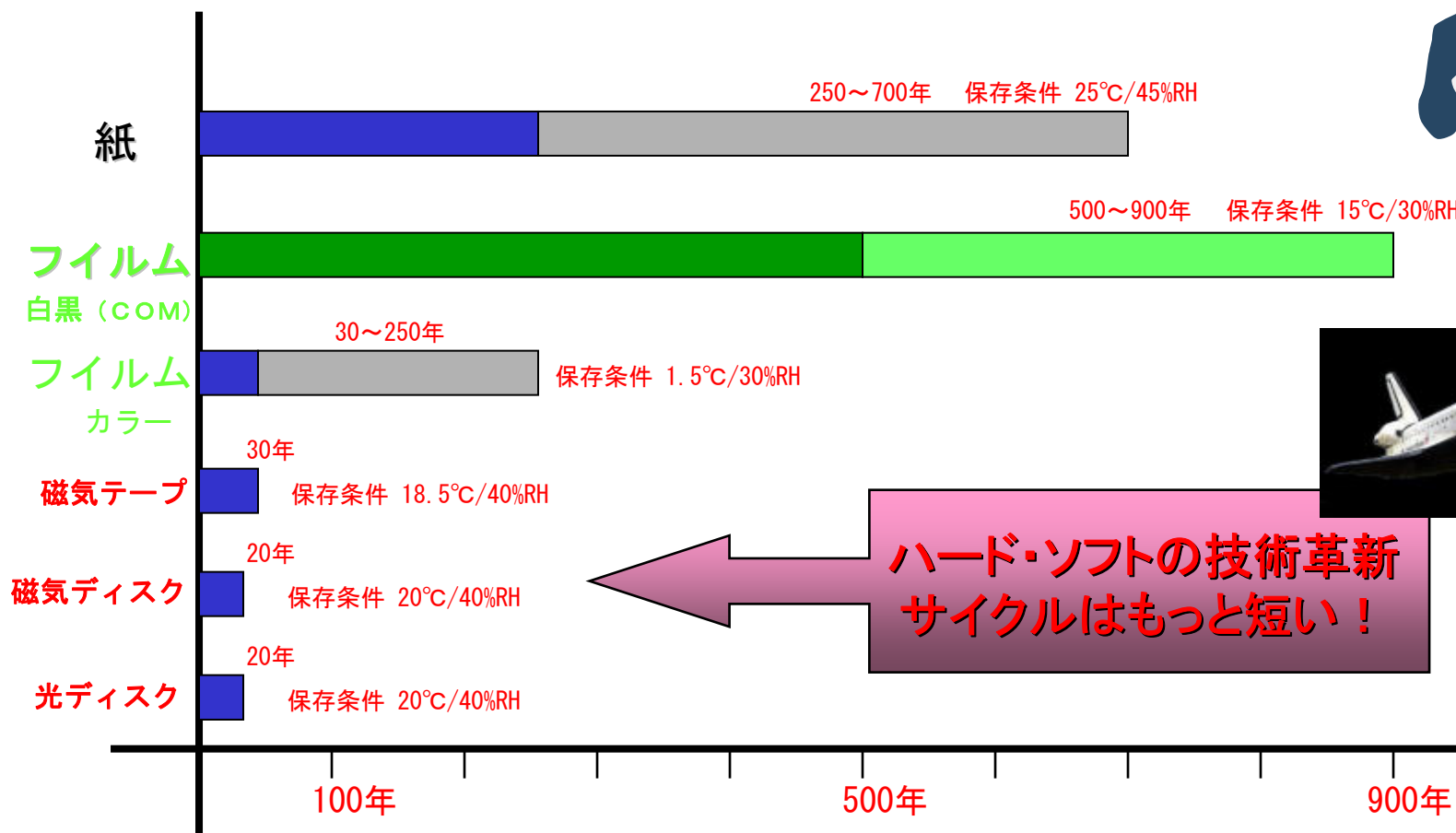
- マイグレーション
(世代管理)

- 通信インフラ障害
- サーバーダウン



情報資産の消失
リスクの増大

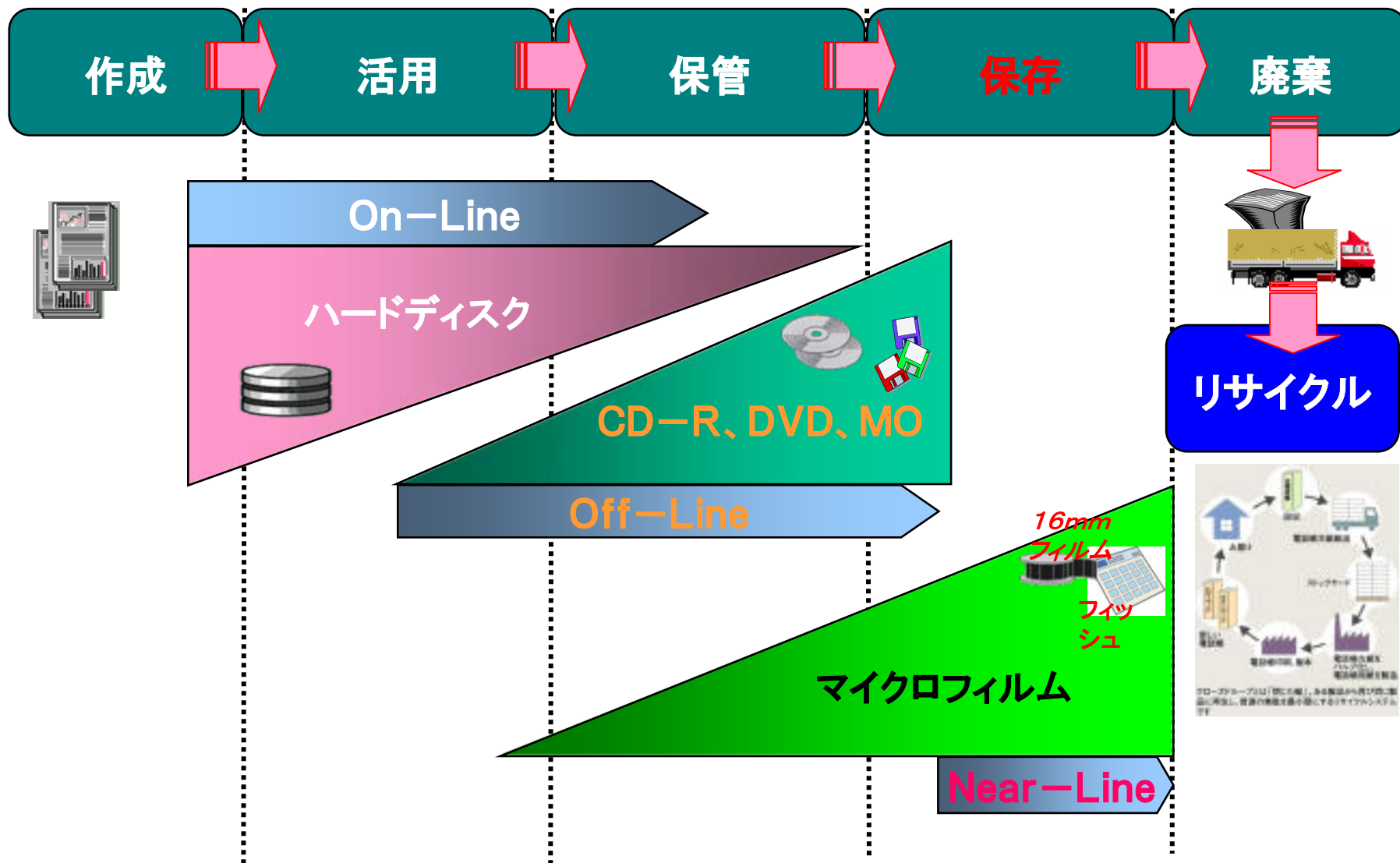
主な記録媒体の期待寿命



**ハード・ソフトの技術革新
サイクルはもっと短い！**

※米国 国立公文書館 A. Calmes氏のデータ

文書のライフサイクルと記録媒体



デジタルとアナログの特性比較

アクセス性に優れたデジタルと長期保存に優れたマイクロフィルムの共存による情報管理体制

項目	紙	電子媒体	マイクロフィルム
・長期保存・安定保存	○	△-	◎
・媒体そのものの可視性	◎	×	○
・外部的ダメージを受けにくい	△	×	△
・データ損傷後の修復性の容易度	△-	△-	○
・原本としての法的承認性	◎	×	◎
・規格の統一性(技術の陳腐化)	◎	△	○
・検索の容易性・迅速性	△-	◎	△-
・情報の共有	△-	◎	△-
・情報へのアクセス性	△-	◎	△-
・追加・更新・削除の容易性	○	◎	×

弱み

相互補完

弱み

ドキュメントアーカイブとは

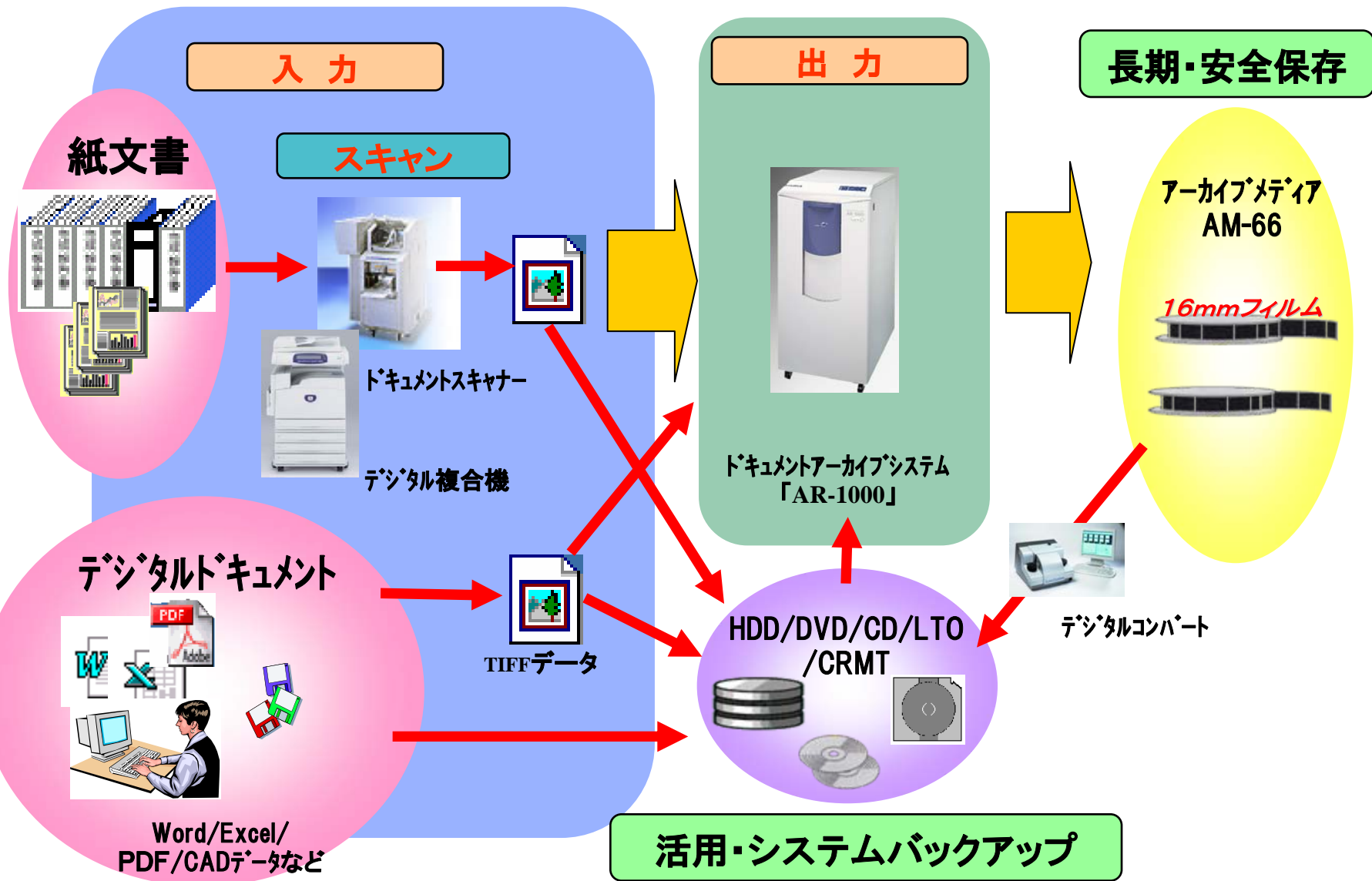
デジタルデータをダイレクトに、マイクロフィルムに記録します。

デジタル化された情報資産（電子文書）の

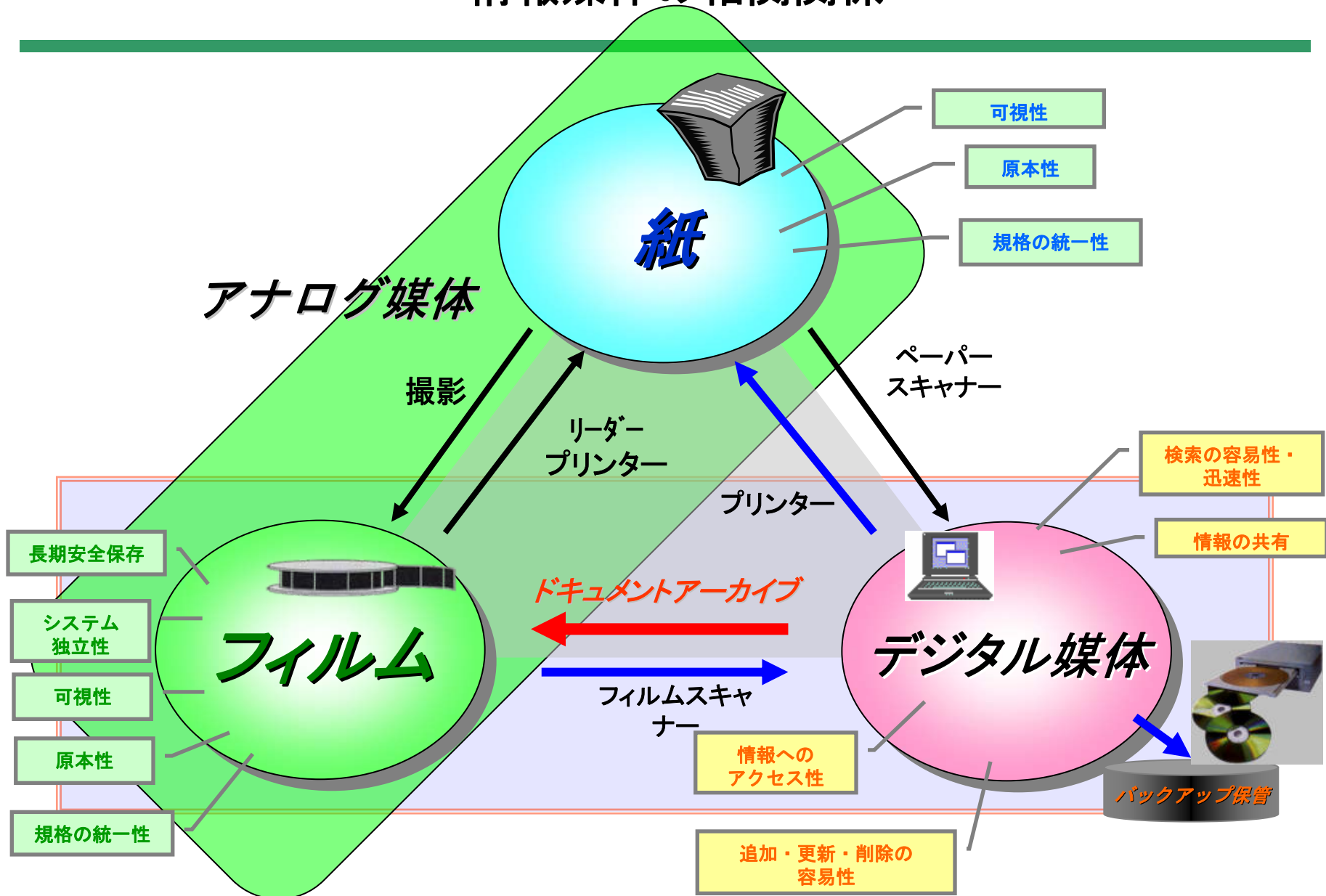
- 「長期・安全保存」を実現する。
- 「利用環境」を将来的に保証する。

IT時代の情報セキュリティソリューションです。

ドキュメントアーカイブフロー



情報媒体の相関関係



アーカイブメディアの出カイメージ(16mmロール)



リール番号、コマ番号、ファイル名、インデックス情報をフィルム
の先頭に記録しますので、検索に必要な索引情報もあわせて
長期保存されます。

タイトル

先頭 →

#001 2003年 昭和45年度生産技術D1234-01XXXXXX TYPE 1
始 08月26日 先頭文書=D1234-01-DATA01. Tif
16時30分 最終文書=D1234-01-DATA99. Tif

→ **つづく**

インデックス **ターゲット**

→ **つづく**

INDEX	INDEX	INDEX	INDEX	INDEX	テスト チャート	管理 情報 1	管理 情報 2		
-------	-------	-------	-------	-------	-------------	------------	------------	--	--

→ **つづく**

D1234 01 DATA01

ファイル名

<<001-0002>>

リール番号/コマ番号

→ **つづく**

		証明書	テスト チャート	終
--	--	-----	-------------	----------

ターゲット

フィルム継続・終了表示

富士フイルム(株)
産業機材部

〒107-0052
住所:東京都港区赤坂9-7-3
TEL:03-6271-3001
FAX:03-6271-3145